



日独医学研究の新展開

ドイツ・ベルリンのシャリテ医科大学と千葉大学とは2010年10月に大学間交流協定を結んでいる。グローバル化の時代に、日独の研究者が果たす役割は大きい。今後どのように両大学で世界をリードしていけるか検討するうえで、お互いの研究分野について知ることが重要である。本ワークショップは両大学による共同研究を展開していくステップアップの貴重な機会である。

2018年

日時

5月11日(金) 15:00-18:00

場所

千葉大学亥鼻キャンパス めのはな同窓会館

15:00 開会の言葉: 森千里・予防医学センター長
主催者側あいさつ: 中谷晴昭理事・副学長
シャリテ医科大学側あいさつ: Axel R. Pries学長

15:15 **講演1 The visual system as a model to study damage and repair in the CNS**
Dr. Friedemann Paul (シャリテ医科大学神経内科教授・共同研究グループ長)

15:35 **講演2 Neuroinflammation and CCC-NEURO (Charité Chiba Collaboration for Researching Neuroinflammation)**
桑原聡 (千葉大学大学院医学研究院神経内科学教授)

15:55 **講演3 Health care and medical process research in acute cardiovascular diseases**
Dr. Martin Möckel (シャリテ医科大学救急救命センター長、循環器内科教授)

16:10 **講演4 Introduction of Emergency and Critical Care Medicine, Chiba University Hospital**
織田成人 (千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学教授)

16:25 休憩 (20分)

16:45 **講演5 Integration of environmental signals into development and function of the innate immune system**
Dr. Andreas Diefenbach (シャリテ医科大学微生物・免疫学教授)

17:05 **講演6 Medical Mycology Research Center: Toward an integrative understanding of host-microbe interactions**
米山光俊 (千葉大学真菌医学研究センター教授)

17:20 **講演7 Antibiotic resistance patterns in neonatal bacterial infections**
Dr. Christoph Bührer (シャリテ医科大学新生児科教授)

17:35 **講演8 Immune modulation in young children by pro/pre-biotics-attempt to reduce infectious burden-**
菱木はるか (千葉大学大学院医学研究院小児病態学講師)

17:50 閉会の言葉: 下条直樹
(千葉大学大学院医学研究院小児病態学教授)
司会: 戸高恵美子・予防医学センター教授

主催: 千葉大学予防医学センター ☎043-290-3896

